

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	基礎医学Ⅱ		
担当教員の実務経験	看護師、病院や福祉施設で従事経験あり		
対象学生	医療福祉ビジネス科２年生		
授業時間数・単位数	60コマ ・ 4単位		
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [] ・ 実 習 []		
授業の概要	疾病ごとに理解と薬の効果を理解し、知識を得る。 医療秘書検定（医学知識分野）対策		
授業の到達目標	1年次の基礎を元に疾病・薬学まで知識を広げる。医療秘書検定２・３級取得		
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価		
準備学習・時間外学習			
使用教科書・教材・参考書	医学入門 医療秘書検定問題集 メディカルドクターズクランク講座２		
授業上の注意点	試験のための勉強のみならず医療機関就職後も役に立つように理解する		
授業計画（内容）			コマ数
人体の構成・診断、診断と治療、薬品に関する公定書と法律			2
薬の名称及び種類、医薬品と処方、薬物療法、薬物の剤形			4
神経系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
循環器系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
呼吸器系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
消化器系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
血液系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
人・泌尿器系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
内分泌系（構造・生理および疾患例、作用する薬物について）			4
アレルギー・免疫系（生理および疾患例、抗アレルギー薬について）			4
感覚器（構造・生理および疾患例）、皮膚および眼に作用する薬物について			4
骨・筋系（構造・生理および疾患例）、代謝（代謝のしくみおよび疾患例）			4
感染症、その他主な薬物			2
期末テスト・解説			2
5月～6月、9月～11月 医療秘書検定問題集（医学知識分野）にて対策			10
合計			60
授業単位数			4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	登録販売者対策Ⅱ	
担当教員の実務経験	看護師、病院や福祉施設で従事経験あり	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	75コマ ・ 5単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	登録販売者試験の合格を目標とし、重要出題分野である「第2章：人体の働きと医薬品」および「第3章：主な医薬品とその作用」を中心に知識の定着を図る	
授業の到達目標	登録販売者試験合格を目指す。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	うかる！登録販売者テキスト&問題集・医学入門・過去問	
授業上の注意点	学習内容は試験に直結するため、予習・復習・反復練習を必ず行うこと。	
授業計画（内容）		コマ数
第4回多くの成分が含まれる医薬品		5
第4回範囲演習問題		1
第5回外用薬、禁煙補助薬、一般用検査薬等		5
第5回範囲演習問題		1
第6回薬事関係法規・制度		5
第6回範囲演習問題		1
第7回医薬品の適正使用・安全対策		5
第7回範囲演習問題		1
APPENDIX 漢方・生薬		5
漢方・生薬 演習問題		1
分野別対策問題演習		15
模擬試験		15
過去問演習		15
合 計		75
授業単位数		5

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	医療現場のソフトを使用した総合実践（企業と連携実践専門課程）	
担当教員の実務経験	（株）シグマソリューションズ	
対象学生	医療福祉ビジネス科２年生	
授業時間数・単位数	１０コマ	１単位
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	講義およびコンピュータ実習にて医療現場を知る	
授業の到達目標	ソフトを使用しながらの実践授業を通して院内業務を理解する。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点	貴重な体験となるため欠席のないよう努める。	
授業計画（内容）		コマ数
第１回 院内業務の流れとシステムのかかわり		1
第２回 保険請求事務		1
第３回 新患登録と医療保険		1
第４回 コンピュータの基礎知識		1
第５回 カルテ入力（問診～検査、処置）		1
第６回 窓口会計、窓口帳票		1
第７回 カルテ入力（書状、マスタメンテナンス、その他の機能）		1
第８回 スマートデバイス、PACS、心電図などの外部機器連携について）		1
第９回 院内業務の流れとシステムのかかわり		1
第１０回 業界の話題 Q&A		1
まとめの試験は別に行う		1
合計		10
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	キャリアガイダンス	
担当教員の実務経験	ファイナンシャルプランナー・コンサルティング会社経営	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	自己分析を行い社会人として必要な知識を習得し模擬面接に臨む	
授業の到達目標	社会人としてのスキルを身に付ける	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
社会人としてのモチベーションの保ち方（事例も交えて）		1
コミュニケーションの取り方（コミュニケーションアップの4段階等）		1
コミュニケーションを円滑にするために（ペーシングとその他のスキル等）		1
社会人としての心構え		1
自己分析と自己PRの仕方と対策、アンガーマネジメント診断		1
ジョハリの窓～実践～		1
会社組織を考える		1
社会人基礎力		1
対人不安の克服の仕方と緊張感を和らげる方法		1
働き方を考える		1
上司とのコミュニケーションの取り方		1
ブレインストーミングとコンセンサスゲーム～実践～		1
面接に向けての配慮事項		1
～模擬面接～		1
～模擬面接～		1
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	病院接遇Ⅱ	
担当教員の実務経験	銀行にて秘書業務に従事した経験有	
対象学生	医療福祉ビジネス科２年生	
授業時間数・単位数	１０コマ ・ １単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	実務に則し、会計窓口～クレーム処理まで幅広い事例をもとに学習する	
授業の到達目標	病院受付の接遇演習をとおして、求められる医療事務スタッフとなるよう、技能を身に付ける	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、Ａ（８０点以上）・Ｂ（６０点以上）・Ｃ（４０点以上）・Ｄ（４０点未満）とする。試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	医療スタッフのためのケアコミュニケーション	
授業上の注意点	普段から敬語を意識すること	
授業計画（内容）		コマ数
医療事務の心構えとマナー		１
好感・安心感を高めるコミュニケーションの基本		１
電話のかけ方		１
電話の受け方		１
受付会計にて～患者様への対応の基本		１
受付会計にて～受付の仕方		１
苦情・クレーム対応		１
要求に応えられない場合の対応		１
チームコミュニケーションの基本		１
医師と看護師との係わり		１
合 計		１０
授業単位数		１

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	アプリケーションソフト実習Ⅱ	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	75コマ	5単位
授業方法	講義 [] ・ 演習 [○] ・ 実習 [○]	
授業の概要	オフィスソフトを用いて、Wordの資格取得を目指す。	
授業の到達目標	日商PC検定文書作成 2級合格 検定後エクセル等復習	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	日商PC検定試験公式テキスト&問題集 文書作成2級 日商PC検定試験知識問題公式問題集 2級	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
・ 日商PC検定文書作成2級		
テキスト演習		20
確認問題		10
模擬試験、試験対策		20
検定試験		5
・ 演習		
ビジネス文書		10
ドリル(Excel復習他)		10
		75
授業単位数		5

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	総合実践Ⅱ	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科 2 年	
授業時間数・単位数	30 コマ ・ 2 単位（左記を標準とし、個々の学生の状況により変更あり）	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [] ・ 実 習 [○]	
授業の概要	総合的な学習によって、充実した学生生活を送ること。	
授業の到達目標	総合的な学習によって、充実した学生生活を送ることができることを目標とします。	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A(80点以上)・B(60点以上)・C(40点以上)・D(40点未満)とし、平常点によって評価します。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書		
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
(1)球技大会		4
(2)学園祭		4
(3)その他学校行事など		22
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	ビジネス実務	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科 2 年生	
授業時間数・単位数	4 5 コマ ・ 3 単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	ビジネス文書作成、冠婚葬祭のマナー、交際の業務などの知識や技能を身に付ける	
授業の到達目標	社会人として必要な知識・一般常識を身につけ教養を高める	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。提出物等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	医療従事者必携！接遇とマナー	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
敬語・接遇用語演習		3
電話応対・名刺交換		3
ビジネス文書作成～社内文書		4
ビジネス文書作成～社外・社交文書		4
はがきと封筒の基本形式		2
慶事のマナー		2
弔辞のマナー		2
上書きのしかた		2
電子メールの基本		2
ケーススタディ		4
席次（応接室・会議室・車など・エレベーター）		2
来客時のマナー		2
他社訪問時のマナー		2
お茶の入れ方・出し方		2
ファイリングの目的・仕方		2
資料管理（名刺の整理・年賀状の整理・住所録・電話番号簿など）		3
郵便物の知識		3
試験・解説		1
合計		4 5
授業単位数		3

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	プレゼンテーション	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科 2 年生	
授業時間数・単位数	15 コマ ・ 1 単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	学んできたPCソフトを使い、医療系に関するテーマを決めグループにて、研究・調査を行い発表する	
授業の到達目標	プレゼンテーションのスキルを身に付ける。	
成績評価方法と基準	研究内容、説明のしかた、資料の使い方により総合的に評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	今まで使用したテキストおよびネット検索	
授業上の注意点	イラスト等見やすい工夫がされているか等、文字情報にも注意し見やすいものを作成する	
授業計画（内容）		コマ数
プレゼンテーションとは概要説明 グループ決定→テーマ決定		1
グループごとに研究・調査		1 2
プロジェクターを使用し、発表する 在校生・各担当の教師も見学し評価		2
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	医事コンピュータ実習Ⅱ・電子カルテ演習	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科２年生	
授業時間数・単位数	60コマ	・ 4単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	１年次の授業に引き続き検定試験に向けての演習を行う。電子カルテにて症例をもとに患者・会計・クラークの役割分担をしながら演習を行い技術を習得する	
授業の到達目標	医事コンピュータ検定試験３級取得、および電子カルテの操作の習得	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、Ａ（80点以上）・Ｂ（60点以上）・Ｃ（40点以上）・Ｄ（40点未満）とする。検定試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	医事コンピュータ技能検定試験問題集 電子カルテ問題集	
授業上の注意点	実務での機種は異なっても基本操作を習得することにより柔軟な対応が可能となる	
授業計画（内容）		コマ数
医事コンピュータ：外来の症例別の演習問題		7
医事コンピュータ：過去問題集にて演習		7
医事コンピュータ：入院の症例演習		6
医事コンピュータ技能検定３級 過去問演習（検定試験対策）		15
電子カルテ：操作の概要説明およびSOAPについて		5
電子カルテ：症例に基づき演習		20
合計		60
授業単位数		4

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	歯科請求事務	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科２年生	
授業時間数・単位数	３０コマ ・ ２単位	
授業方法	講 義 [○] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	歯の構造を学び、歯科疾患についての知識を深め、レセプト演習・点検を行う	
授業の到達目標	メディカルクラーク（歯科）合格 および歯科事務について知識を習得	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。検定試験結果、出席率等を総合的に判断して評価	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	医療事務講座（歯科） （株）ニチイ学館	
授業上の注意点		
授業計画（内容）		コマ数
歯の知識		1
点数算定の基本～基本診療と特掲診療		1
歯冠修復		2
傷病による知調と算定		
硬組織疾患		2
歯髄疾患		2
歯周組織疾患		2
軟組織疾患		2
その他の疾病		1
欠損補綴		
義歯のあらし		2
ブリッジ		2
有床義歯		2
修理・再装着・未来院請求など		1
問題演習		5
点検演習		5
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	卒業研究	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科2年生	
授業時間数・単位数	15コマ ・ 1単位	
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	今まで学んだ内容から、研究題材を選び、さらに深く探求しパワーポイントでまとめ発表する	
授業の到達目標	一つのテーマを探求し、自分の理解はもちろん、他の学生へもフィードバックできるようにするまで研究し成果を発表する	
成績評価方法と基準	出席時数、成果の内容を考慮する、また発表を通してトータル的に評価する	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	今までのテキストおよびネット検索	
授業上の注意点	自己満足にならず、他の学生にも理解できるよう内容に配慮する	
授業計画（内容）		コマ数
テーマを選ぶ		1
各自、テーマに沿ってパワーポイントを使用し調べ学習		12
発表に向けての原稿作成・発表		2
合 計		15
授業単位数		1

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	就職実務	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科 2 年生	
授業時間数・単位数	15 コマ	1 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	就活における進め方、学校求人それ以外の就活の流れを確認する。面接対策にて模擬面接指導を行う。spi対策（個別）や一般常識対策を行う。	
授業の到達目標	就活の流れを理解し、早期研修、新卒求人への早期の取り組みにより内定に結び付ける。	
成績評価方法と基準	出席時数、模擬面接評価、一般常識テストにて行う	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	一般常識テキスト spiテキスト	
授業上の注意点	内定後の検定への取り組みも意識が下がらないよう指導を継続する。	
授業計画（内容）		コマ数
就活の流れ説明、今後の活動の説明		1
早期研修の場合の流れ説明、契約社員・嘱託の違いなど		1
面接指導		3
模擬面接（集団面接）指導		5
一般常識演習		5
SPI対策		
合 計		15
授業単位数		1

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	検定試験対策	
担当教員の実務経験		
対象学生	医療福祉ビジネス科 2 年	
授業時間数・単位数	30 コマ	2 単位
授業方法	講 義 [] ・ 演 習 [○] ・ 実 習 []	
授業の概要	各検定試験ごとに、演習・試験対策を行う	
授業の到達目標	各検定試験にむけて、それぞれの過去問題・模擬問題で理解度を図る	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	各検定試験のテキスト、過去問題、および教員作成問題	
授業上の注意点	学生の進度によっては放課後の指導を行う。	
授業計画（内容）		コマ数
診療報酬請求事務能力認定試験対策		15
メディカルクラーク試験対策		5
医療秘書検定試験対策		5
医事コン・電子カルテ検定試験対策		5
合 計		30
授業単位数		2

授 業 概 要

秋田情報ビジネス専門学校

科目名	医療秘書演習	
担当教員の実務経験	医療機関にて医療事務業務に従事経験有	
対象学生	医療福祉ビジネス科2年	
授業時間数・単位数	75コマ	5単位
授業方法	講義〔○〕・演習〔○〕・実習〔 〕	
授業の概要	医療秘書検定3級・2級の合格を目指すとともに、医療秘書の職務と役割をよく理解し、実務の際に指示通り実行する能力と知識と、状況に応じた判断力、行動力を養う。	
授業の到達目標	各検定試験にむけて、それぞれの過去問題・模擬問題で理解度を図る	
成績評価方法と基準	成績評価基準は、A（80点以上）・B（60点以上）・C（40点以上）・D（40点未満）とする。試験結果、出席率、提出物等を総合的に判断して評価する。	
準備学習・時間外学習		
使用教科書・教材・参考書	医療秘書技能検定実問題集、過去問題、および教員作成問題	
授業上の注意点	問題を丸暗記するのではなく、問題と解説内容を理解し、繰り返し解くことで、類似の問題にも対応できる力をつける	
授業計画（内容）		コマ数
医療秘書検定3級へ向けて概要説明ガイダンス		1
3級（医療事務②） 対策講義・解説		10
3級（医療事務①） 対策演習		10
確認テスト		4
分野別演習問題		4
医療秘書検定2級へ向けて概要説明ガイダンス		1
2級（医療事務②） 対策講義・解説		15
2級（医療事務①） 対策演習		15
確認テスト		4
分野別演習問題		6
本番形式演習		5
合計		75
授業単位数		5

